



取扱説明書/保証書

R1MX
【リミックス】

118

218

INDEX

各部・パーツ名称	P03
付属品	P05
RMX(リミックス)ドライバーの操作方法について	P06
RTSスリーブの説明	P07
スリーブ取り付けの説明	P09
ロフト角/ライ角/シャフトを変える手順	P11

この度はヤマハゴルフクラブをお買上げいただき、誠に有難うございます。
より安全にご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みくださるようお願いいたします。
お読みいただいた後は巻末の保証書と一緒に大切に保管してください。
保証書は販売店印、ご購入日等の記入があることをお確かめのうえ、
ご購入されました販売店よりお受け取りください。保証書を紛失されますと、
たとえ保証期間中であっても保証対象外となります。
また保証書の再発行はいたしませんのでご了承願います。



RTSウェイトの取り外し・取り付け方法	—————	P12
注意事項	—————	P13
保管方法・お手入れ	—————	P18
ゴルフ規則について	—————	P20
ゴルフを安全に楽しむために	—————	P21
お問い合わせ先/保証規定/保証書	—————	P29

REMIx TUNING SYSTEM

リミックス・チューニング・システム

各部・パーツ名称

RMX 118

RTSウェイト

ウェイトポート

シャフト固定ネジ

RTSスリーブ



RMX (リミックス) ドライバーに採用したリミックス・チューニング・システム (RTS) は、スイングに適したチューニングを行うことができ、より大きな飛距離や正確性の高いショットを提供します。

RMX 218

RTSウェイト

ウェイトポート

シャフト固定ネジ

RTSスリーブ



付属品

RTSトルクレンチ



Made in TAIWAN

ヘッドカバー



Made in CHINA

オプション

RTSウェイト: ¥1,600/個+税

4g~22gまで1.5g刻み・計13種類のウェイトをご用意。



Made in CHINA

RMLX

【リミックス】

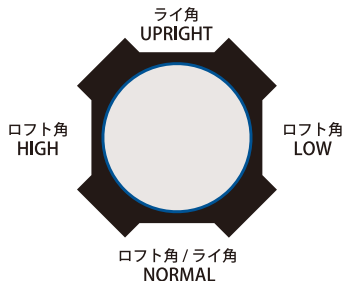
操作方法

RTSスリーブの説明

スリーブ



スリーブ断面図



■ RTSスリーブポジションによる角度

	NORMAL	HIGH	UPRIGHT	LOW
ロフト角(°)	0	+1	0	-1
ライ角(°)	0	+0.75	+1.5	+0.75

RTSスリーブは旧モデルヘッドにも対応!

RTSスリーブは2014年・2013年RMXヘッドに装着してもロフト角調整が可能です。
また、旧 RTSスリーブは2015年モデル以降のRMXヘッドにも装着いただけます。
(ロフト角調整不可)

スリーブ	調 整	RMXヘッド
RTSスリーブ	ライ角	●
	ロフト角	●
旧 RTSスリーブ	ライ角	●
	ロフト角	×

- ① 2014年・2013年モデルの旧RTSスリーブから2015年モデル以降のRTSスリーブへの交換はアフターサービスにて対応いたします。

価格：8,000円+税 (ドライバー用RTSスリーブ→FW/UT用RTSスリーブへの変更はできません)

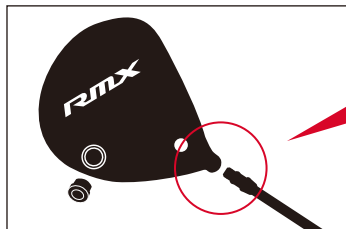
- 対応はヤマハ出荷時の状態のものに限ります。改造品は対応できません。
- スリーブ交換はシャフト強度低下防止のため、1回までとさせていただきます。
- スリーブ向きの変更は可能です。
- シャフトバランスはお預かりしたものと同じバランスでお戻しいたします。
- グリップ向きの変更、シャフト長さ変更等は別途工賃をいただきます。

※ RMX LEFTY の場合は左右が逆になるので、HIGHでロフト角が-1度、LOWでロフト角が+1度となります。
ご注意ください。

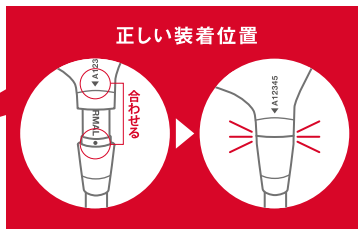
スリーブ取り付けの説明

RTSは、ホーゼルへのシャフトの差し込み方で2種類のロフト角、2種類のライ角に調整することが可能です。

構えやすさや球のつかまり具合・上がり具合などに応じて、好みのフィーリングに合ったポジションをお選びいただけます。



好みのロフト角/ライ角の文字
(NORMAL、UPRIGHT、HIGH、LOW)が
手前に来るようにして差し込んでください。



正しい装着位置
ヘッドのネック部分の▼とスリーブの●を
合わせて差し込んでください。

■ RTSによるロフト角/ライ角の変更方法

- ① シャフト固定ネジを外します。
- ② 好みのポジション (NORMAL、UPRIGHT、HIGH、LOW) を選択します。
- ③ シャフト固定ネジでヘッドとシャフトを固定します。



RTSウェイト

RTS ウェイトを交換することにより、クラブのバランスを調整することが可能です。

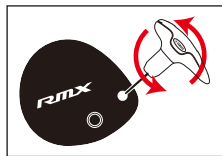
※2014年・2013年のRTSウェイトは、破損の恐れがあるため、使用しないでください。

■ ウェイト重量変更とバランスの変化について

以後、+ 1.5 g ごとに +1 ポイント	
+ 4.5 g	+ 3 ポイント
+ 3.0 g	+ 2 ポイント
+ 1.5 g	+ 1 ポイント
± 0 g	± 0 ポイント
- 1.5 g	- 1 ポイント
- 3.0 g	- 2 ポイント
- 4.5 g	- 3 ポイント
以後、- 1.5 g ごとに -1 ポイント	

ロフト角/ライ角/シャフトを変える手順

シャフト固定ネジの星型の穴に合わせて、RTSトルクレンチの先をまっすぐ差し込みます。片手でRTSトルクレンチをしっかり支えながら、シャフト固定ネジを時計回りとは逆に回転させると約10回転ほどで外せます。



RTSスリーブを外すには、RTSウェイトを時計回りと逆に回転させてください。

次に選択したスリーブポジションをホーゼルに印された矢印に合わせます。RTSスリーブの付いたシャフトを、ホーゼル内で突き当たるまで差し込みます。そしてRTSトルクレンチを用いて、ヒール側のシャフト固定ネジを時計回りに締め付けてRTSスリーブをヘッドに装着してください。シャフト固定ネジは、完全に取り付けられたことを知らせる「**カチッ**」というトルクレンチの音が聞こえるまで、しっかり回転させてください。



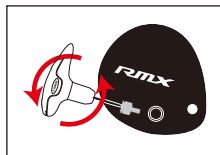
RTSスリーブを締め付けるには、シャフト固定ネジを時計回りに回転させてください。

※RTSスリーブは、シャフト固定ネジを特定のトルクまで締め付けることにより、完全に固定できるよう設定されています。またRTSトルクレンチは、RTSスリーブの固定に必要なトルク量で締め付けられる、過剰締付自動防止機能を備えています。

● 指定外のトルクレンチを使用しないこと。● トルクレンチを

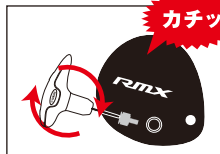
RTSウェイトの取り外し・取り付け方法

RTSウェイトをウェイトポートから取り外すには、RTSトルクレンチの先をRTSウェイトの星型の穴の形状に合わせてまっすぐ差し込みます。片手でRTSトルクレンチをしっかりと持ち、もう一方の手でクラブヘッドをしっかりと支えながら、RTSウェイトを時計回りとは逆に回転させてください。ネジが緩みRTSウェイトが完全に外れたら、ウェイトポートから取り出します。



RTSウェイトを緩めるには、時計回りと逆に回転させてください。

RTSウェイトをウェイトポートに取り付けるには、RTSトルクレンチを用いてRTSウェイトを時計回りに回転させ、RTSウェイトをウェイトポートに装着してください。完全に取り付けられたことを知らせる「**カチッ**」というトルクレンチの音が聞こえるまで、しっかりと回転させてください。



RTSウェイトを締め付けるには、時計回りに回転させてください。

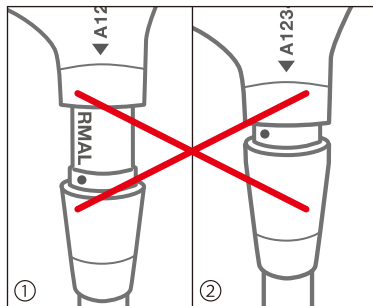
※RTSウェイトは、特定のトルクまで締め付けることにより、完全に固定できるよう設定されています。またRTS専用トルクレンチは、RTSウェイトの固定に必要なトルク量で締め付けられる、過剰締め付自動防止機能を備えています。また、2014年・2013年のRTSウェイトは、破損の恐れがあるため、使用しないでください。

斜めに挿さないこと。●「**カチッ**」というまで締めること。

注意事項

- 重要: 損傷を防ぐために
- 保管方法・お手入れ
- ゴルフ規制について

注意:RTSスリーブについて



誤った装着位置

- ① ▼マークとスリーブの
NORMAL、UPRIGHT、HIGH、
LOWが直線上に並んでいなければ、
誤って装着されている状態です。
- ② スリーブとホーズルの段差、
隙間がある状態です。

※正しく装着されていない場合はネジが
締まりません。

シャフトとヘッドの装着について



シャフト固定ネジを無理に取り外さない
でください。

※シャフト固定ネジがヘッドから外れてしまっ
た場合には、ご自身ではめ込まずにヤマ
ハゴルフまでお問い合わせください。

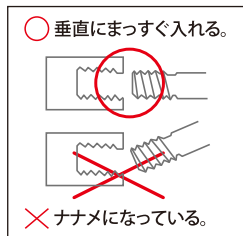
- RTSスリーブは正しい装着位置でご使用ください。
- シャフト固定ネジはヘッドから取り外さないでください。

注意事項

■重要: 損傷を防ぐために

RTSウェイト、シャフト固定ネジとシャフトに固定されたRTSスリーブ、およびウェイトポートの損傷を防ぐため、以下を守ってください。

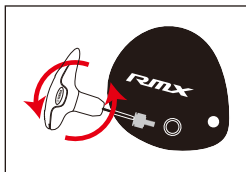
取り付け作業時にネジ山とネジ溝がまっすぐに揃っていることを確認してください。この確認を怠ると、それぞれのネジ山やネジ溝に損傷が生じる可能性があり、その結果、各パーツの取り外しや取り付けができなくなります。



取り外しや取り付けの最中には、RTSトルクレンチの先がRTSウェイトとシャフト固定ネジの星型の穴に完全に、そしてしっかりと挿入されていることを確認してください。RTSトルクレンチとクラブヘッドをしっかりと支え、RTSトルクレンチの先端と星型の穴が常に垂直になるよう気をつけてください。

●指定外のトルクレンチを使用しないこと。●トルクレンチを

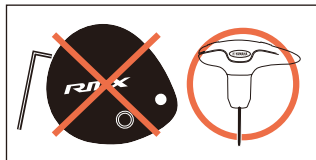
取り付け中、シャフト固定ネジやRTSウェイトが完全に取り付けられたことを知らせる「**カチッ**」というRTSトルクレンチの音が聞こえるまでしっかりと締め付けてください。



RTSウェイトを緩めるには、時計回りと逆に回転させてください。



RTSウェイトを締め付けるには、時計回りに回転させてください。



星型のネジ穴がつぶれたり、接続部分が破損したりすることを避けるために、RTSトルクレンチ以外の工具による取り付けや取り外しは行わないでください。

斜めに挿さないこと。●「**カチッ**」というまで締めること。

プレーまたは練習の前には、必ず「**カチッ**」となるまで締め直し、RTSスリーブやRTSウェイトが正しく装着されていることをご確認ください。

RTSスリーブがホーゼル内部に、RTSウェイトがウェイトポートに適切に装着されていない限り、コースを回ったり、ドライビングレンジで練習したり、スイングを試したりしないでください。これらが守られない場合、次のような状況を引き起こす可能性があります。

- ① 土、ほこり、湿気、異物などがRTSスリーブのネジ穴、ホーゼル内部、ウェイトポートのネジ穴の隙間に入り込むことがあります。これらはネジを損傷する可能性があります、RTSスリーブやRTSウェイトの再装着を困難あるいは不能にします。場合によっては、クラブヘッドやホーゼルの内部に損傷が生じ、結果として、クラブの性能に悪影響を与えることにもなりかねません。
- ② RTSスリーブがホーゼルに、RTSウェイトがウェイトポートに適切に装着されていない場合、スイングの最中にヘッドやRTSウェイトが外れる可能性があります。その結果、ご自分や周りにいる方が負傷する恐れがあります。

これらの注意事項が守られていない場合に起きた破損や不具合については、クラブ保証が適応されません。

● 指定外のトルクレンチを使用しないこと。● トルクレンチを

■保管方法・お手入れ

- ①RTSスリーブやRTSウェイトの取り外しは、仕様変更と調整をする場合のみ行ってください。それ以外の場合は、RTSスリーブのネジ穴、ホーゼル内部、ウェイトポートのネジ穴への異物侵入を防ぐため、クラブ保管時も含め常時、各パーツを正しく装着したままにしておいてください。
- ②クラブヘッドのお手入れ時、またはその他のいかなる場合においても、ホーゼル、RTSスリーブ、ウェイトポートのネジ穴に液体が侵入しないよう注意してください。クラブヘッドのお手入れ中は、RTSスリーブやRTSウェイトがすべて装着されていなければなりません。
- ③RTSスリーブやRTSウェイトの取り外しと取り付けは、異物が空のホーゼルやRTSスリーブ、ウェイトポートのネジ穴に侵入したり、ネジ山に詰まったりしないよう、清潔場所で行ってください。濡れたり汚れたりしたRTSスリーブやRTSウェイトはそのまま装着せずに、乾いた柔らかな布などで完全に拭き取ってからご使用ください。

斜めに挿さないこと。●「カチッ」というまで締めること。

- ④ ホーゼル穴やRTSウェイトポートの中に異物が入った場合、各ネジ穴の底に異物が落ちないように、ネジ穴を下に向けて持ち、きれいな布などで取り除いてください。
- ⑤ シャフトに装着されたRTSスリーブの先端のネジ溝、RTSウェイトのネジ山、ウェイトポートのネジ溝には、いかなる種類の潤滑剤も使用しないでください。
- ⑥ シャフトに装着されたRTSスリーブの先端およびRTSウェイトのネジ山は、研磨したり、やすりにかけたりするなどのいかなる改造や変更も決して行わないでください。各パーツの適切な装着が妨げられ、ヘッドやRTSウェイトがスイングの最中に外れる可能性があります。その結果、ご自身や周りにいる方が負傷する恐れがあります。
- ⑦ RTSウェイトやシャフト固定ネジをはじめ各パーツは、破損や事故につながる恐れがありますので、絶対に分解しないでください。また、専用のパーツ以外はご使用にならないでください。

- 指定外のトルクレンチを使用しないこと。
- トルクレンチを斜めに挿さないこと。
- 「カチッ」というまで締めること。

■ゴルフ規則について

- ① RMX(リミックス)ドライバーは、米国のUSGAおよび英国のR&Aによる「ゴルフ規則」を遵守しています。しかし、ラウンド中におけるライ角の変更、RTSウェイトの取り外しや取り付けをする行為は、規則第4条2a項「正規のラウンド中、クラブの性能は調節その他の方法により故意に変更してはならない。」という規定に抵触し、ゴルフ規則の遵守不履行とみなされます。
- ② 穴の開いたクラブヘッドは、USGAとR&Aによる「ゴルフ規則」の遵守不履行とみなされます。附則第II条4a項には以下のように規定されています。「クラブヘッドの形状は大体において単純なものでなければならない。また、そのすべての部分は堅牢(rigid)で、ヘッドの実質的な構成部分であるとともに、機能的でなければならない。単純な形状についてはこれを正確に、しかも包括的に定義づけることは困難であるが、単純な形状の要件に反するものとみなされ、したがって規則上許されないものの例として、(a)クラブヘッドを貫き通っている穴が含まれますのでウェイトポートには必ずウェイトを装着してお使いください。」

ゴルフを安全に楽しむために / クラブ全般

ゴルフクラブの使い方、手入れ方法や保管方法など、内容を正しく理解してください。下記の「警告」や「注意」事項を必ず守っていただき、安全で快適なゴルフライフをお楽しみください。



してはいけない禁止行為を示しています。



守っていただくべき義務行為を示しています。

(社)日本ゴルフ用品協会 統一取扱説明書(平成18年作成)

警告



各部に異常がないか必ず確認

クラブを使用する前には、シャフト、ヘッドのヒビ割れ、シャフト接着のゆるみ、ビスの浮き、グリップのゆるみなど、各部に異常がないことを必ず確認してください。けがの原因となることがあります。



自分にマッチしたクラブの使用

力が強く、体力のある方がシニア向け、レディース用やジュニア用のクラブを使用すると、破損し、けがの原因になることがあります。自分の体力や技量にマッチしたクラブを使用してください。※自分にマッチしたクラブの破損は、販売店にご相談ください。



❗ スイング時は周囲の安全を必ず確認

スイングする場合は、人、樹木、建造物などに触れないよう、周囲の安全を必ず確認してください。人に当たると死亡やけがの原因になります。また、道路や公園など、人通りのある場所では絶対に使用しないでください。※長尺仕様のモデルは、特に注意してください。



❗ 打撃は必ず適切なものを使用

ゴルフボールや打撃練習器具以外のものは打たないでください。また、コンクリートやアスファルト、石など、硬いものの上では打たないでください。けがやクラブ破損の原因になります。



❗ 落雷は早めに避難

ラウンド中や屋外で使用中、雷が鳴りはじめたら、クラブを体から遠ざけて、なるべく早く安全な場所に避難してください。カーボンシャフトやスチールシャフトは電気を通すため、感電する危険があります。



❗ 消耗したグリップは早めに交換

表面がツルツルになったり、スリ減ったり、ヒビ割れたグリップは必ず取り替えてください。スイング中、クラブが手から滑り抜けて、人に当たる危険があります。また、異常を感じた場合は、早めに取り替えてください。



❌ パターでのショットは危険

パターは、グリーン上でのパッティングやグリーン周辺からのアプローチ用に設計されていますので、それ以外では使用しないでください。特に、ショットをするとシャフトが折れて、クラブ破損やけがの原因になります。



❗ 強い衝撃の後は必ずチェック

インパクト時に、強いダフリ(地面への打撃)をしたときは、ネック部やシャフトに異常がないか必ず点検してください。そのまま使用するとシャフトが折れて、けがの原因になることがあります。また、樹木や建造物、石や金属などで衝撃を受けた場合も、必ず点検してください。

注意



❌ ネックの打撃は破損の原因

極端なヒールショットやネック打ちは、シャフトやヘッドが破損する原因になることがあります。特に、金属ヘッドのネック打ちは、ネック部の曲がりやシャフト折れの原因となります。



❌ クラブを大切に

クラブを踏みつけたり、たたきつけたりせず、取り扱いには注意してください。また、クラブを杖代わりに使用したり、重いものを乗せたり、ぶら下がったりすると、破損やけがの原因になります。



❗ クラブを保護しヘッドのキズや割れに注意

ウッドクラブは、ヘッドカバーを使用して、ヘッドにキズがつかないように注意してください。また、大型ヘッドのドライバーは、素材の肉厚が薄くなっていますので、過度の割れや凹みが生じることがあります。使用されない時は必ず、ヘッドカバーを装着してください。



⊘ シャフトの折れ口は、けがに注意

シャフトが破損した場合は、折れ口には絶対に触れないでください。切りキズや刺しキズを負う危険があります。特に、カーボンシャフトの繊維は、刺さりやすいので注意してください。破損箇所はテープや布などで保護し、シャフトを早めに取り替えてください。



⊘ 無理な負荷は破損の原因

シャフトの硬さや調子を調べるために、過度の力で曲げたり、ねじったりしないでください。シャフトが破損する場合があります。



❗ シャフトのキズは早めに交換

シャフトを踏みつけたり、衝撃によりキズがついた場合は、早めに交換してください。たとえ小さなキズでも、そのまま使用を続けるとシャフトが折れ、けがの原因になります。



❗ キャディバッグからの出し入れに注意

キャディバッグからクラブを出し入れする場合は、クラブに強い力がかからないように注意してください。また、クラブの入ったキャディバッグの転倒には、特に注意が必要です。



❗ クラブの搬送はキズに注意

クラブを搬送する場合は、すりキズや打ちキズがつかないように、キャディバッグを利用するなど、包装に注意してください。

**ゴルフクラブを湿気、サビなどから守るために、
使用後は必ず手入れをしてください。**

クラブヘッドのお手入れ方法

- クラブのフェース面、ソールなどに付着した砂、泥、芝などをブラッシングにより落とします。
- 乾いた布で細かな汚れや水分をふき取ります。
- 市販のオイル、クリーナーをムラなく塗ります。
- 仕上げに乾いたきれいな布で磨いてください。

軟鉄

ヘッド表面には、メッキ加工を施していますが、ソフトな軟鉄素材を活かすために、きわめて薄い膜厚になっています。強酸性やコンパウンド（研磨剤）入りのサビ取り剤やクレンザー、スチールウールなどは使用しないでください。ヘッドの表面をキズつけ、サビの原因になります。

金属（チタン、メタルなど）ヘッドの塗装

金属ヘッドの塗装は、芝の摩擦やボールや砂との衝撃により、塗装が摩耗したり、剥げ落ちることがあります。ヘッド本体にキズがない限り、破損の原因にはなりません。研磨剤を含まないメタルヘッド専用クリーナーを使用してください。

特殊メッキ／IP（イオンプレーティング）等

やわらかい打球感を重視した表面仕上げを施しており、従来のニッケルクロムメッキに比べ、表面硬度が軟かく、膜厚も薄くなっています。そのため、すりキズ、当たりキズがつきやすく、また、特有の変色やサビなど、表面変化が起こりやすいため、強酸性や研磨剤の入ったサビ取り剤は絶対に使用しないでください。IP加工部の再修理は対応できません。ソール部分はIP処理のため金属ブラシなどの使用は傷が付くのでしないでください。

カーボン

素材の特性上、過度の加熱により品質が劣化し、破損の原因になることがありますので、ストーブやバーナーなど、熱源の近くには置かないようご注意ください。

チタン、ステンレス、アルミ、銅合金

水分や汚れが付いたまま保管したり、車のトランクなど湿気の多い場所に長時間放置すると、サビや腐食が発生する場合があります。塗装していない部分は、サビ取り剤で軽く磨いてください。

シャフト

- ① 乾いた布で付着したホコリ、泥、汚れを拭き取ります。
- ② 市販のオイル、クリーナーをムラなく塗ります。
- ③ スチールシャフトの錆び防止のために、ご使用後は乾いた布で細かな汚れや水分を十分拭き取ります。特に雨天時使用後は、キャディバッグから出して、風通しの良い場所で陰干しをしてください。

ラバーグリップ

- ① 乾いた布で付着したホコリ、泥、汚れを拭き取ります。
- ② 日陰で自然乾燥させてください。

雨の日のプレー後

- ① 乾いた布で水分をよく拭き取った後、風通しのよい場所で、陰干しをします。
※ キャディバッグからクラブを出し、ヘッドカバーは外します。
- ② 完全に乾いてから、手入れしてください。

クラブの保管方法

- 高温、多湿の場所は避けてください。
- 車のトランクの中や直射日光の当たる場所には、長時間置かないでください。
- 火気に近付けないでください。
- 子供が取り出してもやみに振り回さないように、保管管理してください。
- 物が落下したり、倒れてこない場所に保管してください。

修理方法

ご自身での修理は、安全上の問題が生じます。修理の際は、必ずお買い上げ販売店にご依頼ください。また、転居、贈答品など、お買い上げ販売店にご相談できない場合は、弊社までご連絡ください。

改造について

クラブを改造された場合は、メーカーとして責任はとれません。

《お問い合わせ先》

ヤマハ株式会社 ゴルフHS事業推進部

〒435-8567 静岡県浜松市南区青屋町283

商品に関するお問い合わせは、下記フリーダイヤルまで

ヤマハゴルフお客様ダイヤル

 **0120-808-562**

10:00～17:00(土・日・祝を除く)

マークについて

SGマークは製品安全協会が安全な商品であると認めた製品に表示されるものです。

万が一、製品の欠陥により対人事故が発生した場合には製品安全協会までご連絡下さい。けがなどの被害の程度に合わせて補償が行われます。



**対人補償責任保険付
製品安全協会**

SGマーク制度は、製品の欠陥に基づく身体への危害に対する補償制度です。

製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2F
TEL 03-5808-3300

お取扱上の注意

SGマークのあるゴルフクラブは安全にご使用いただけるように製造されています。しかし、誤った使い方をしますと破損する場合があります。また、長年ご使用頂きますと、使用に伴う強度の低下により、破損しやすくなる場合がありますのでご注意ください。

※本マニュアルに使用されている写真や図はイメージです。実際の商品とは異なる場合がありますのでご注意ください。
※この取扱説明書は、お読みいただいた後は巻末の保証書と一緒に大切に保管してください。

《保証規定》 ※必ずお読みください。

- ① 通常の使用状態において保証期間中に万一品質、或は製造上の不備による損傷が発生した場合は当社無償にて修理、又は交換いたします。その場合は、商品と本書をご持参ご提示の上お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ② ご贈答品、ご購入後の修理についてお買い上げ販売店にご依頼できない場合には、弊社お客様ダイヤルにお問い合わせください。
- ③ 次の場合は、保証期間中でも品質保証が適用されませんのでご了承ください。
 - a) 火災・天災・地変による損傷。
 - b) 保存上の不備による損傷（例えば重量物の下や直射日光の当る車内等の高温の場所に長時間放置したため発生したもの）
 - c) ゴルフクラブの機能に影響ありと認められる改造、変更が加えられ、これが原因と認められる場合。
 - d) 弊社以外の所で修理をされた場合。
 - e) 著しい濫用または手入れ不良が原因と判断される場合。
 - f) 使用目的外の事故、または使用中不測の事故による場合。
 - g) その他これに準ずる場合。
- ④ お買い上げ日、製造番号によって保証、アフターサービスを実施しております。お買い上げ日が訂正されている場合、又故意に製造番号を手直しあるいは消失された商品は保証しかねる事がございますのでご了承ください。
- ⑤ 保証書の添付がない場合は保証できないことがあります。
- ⑥ 保証書は再発行しません。
- ⑦ 本証は、日本国におけるお買い上げ、ご使用の場合に限り適用いたします。
- ⑧ 保証期間経過後も修理・アフターサービスについてご不明の場合はお買い上げ販売店、又は弊社お客様ダイヤルへお問合せください。

※保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、弊社お客様ダイヤルにお問い合わせください。

《アフターサービス規定》

保証規定に基づく無償修理期間を経過した製品および期間内での無償対象外修理については、有償修理料金に従い修理させていただきます。（料金・修理期間等の詳細はお買い上げ販売店にお尋ねください。）修理現品の運送料は、お客様の負担となります。なお原則として、次の場合は修理をおことわりさせていただきます。

- a) ゴルフクラブの機能に影響ありと認められる改造、変更が加えられ、これが原因と認められる場合。
- b) その他、修理不能と思われる製品又は部品の修理。